

「10 月度研修会」報告

修習技術者支援実行委員会 委員補佐
中村 聡 修習技術者(建設部門)

1. 研修会概要

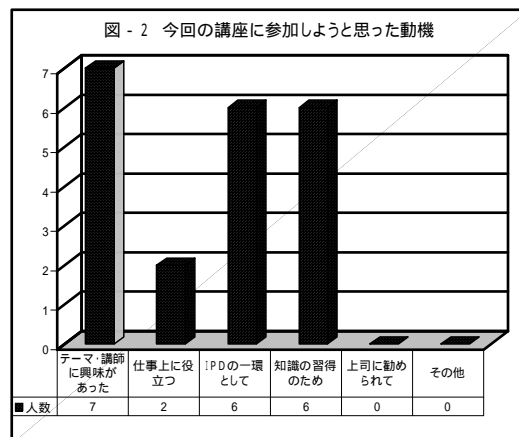
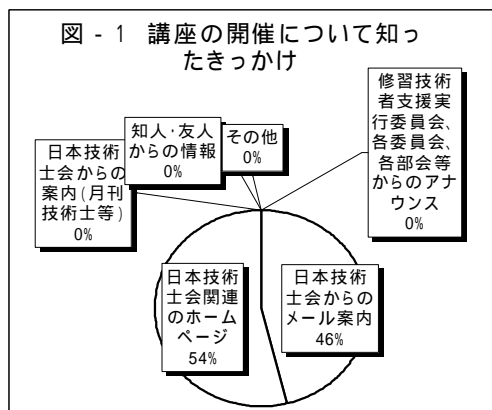
日 時 平成 21 年 10 月 3 日 (土)
13 : 00 ~ 20 : 00
主 催 社団法人日本技術士会
修習技術者支援実行委員会
会 場 日本技術士会荻手第二ビル 5 階

2. 研修会の内容

セミナーの趣旨説明 修習技術者支援実行委員会	13:00 ~ 13:10 原 洋介
福知山線事故の概要説明 技術士 (化学部門)、東京農工大学 大学院 技術経営研究科 准教授	13:10 ~ 13:50 中村昌允 氏
グループワーク課題、討議の進め方 技術士 (建設部門、総合技術管理部門)、(株) フジタ	13:50 ~ 14:00 岡田恵夫 氏
グループ編成およびグループワーク	14:00 ~ 15:50
発表	16:00 ~ 17:20
全体討論 司会 チューター	17:20 ~ 18:00 小西義昭 氏 高田 一 氏 岡田恵夫 氏
懇親会	18:00 ~ 20:00

3. 研修会の参加者

今回の研修会の参加者は 21 名であり、幅広い年齢層、さまざまな技術士部門からの参加があった。また、参加するきっかけを図 1 に、参加の動機を図 2 に示す。



4. 研修会状況について

今回の研修会の課題は、「行動原理」 - 技術系管理者におけるリスクマネジメントを考える：技術者の役割 - であり、今回のセミナーはリスクマネジメントの観点から、技術系管理者がどのように考えればよいかをグループで討論を行い、技術者の役割りを学ぶという目的で行われた。

グループワークを通じて自分の技術業務の社会的な責任や役割、社会へ及ぼす影響、安全対策の方法を考える上で貴重な研修となった。



写真 1 : 研修会の状況

◆ 福知山線事故の概要説明について

東京農工大学教授の中村氏の講演では、福知山線の事故について、事故の概要や事故原因、原因となる背景が紹介された。本件の事故の問題点が掘り下げられ、公表された事故報告書の内容で本当に再発防止ができるのか、あらためて考えさせられる内容であった。



写真 2 : 中村氏の講演状況

- ◆ グループワークについて
技術士の岡田氏より、グループワークの課題、検討の進め方について説明された。



写真 3 : 岡田氏の説明状況

各グループには仮想シチュエーションが与えられ、その局面において以下の課題が与えられた。

1. 設備変更時どのようなリスクアセスメントを実施するか。
 2. 事故に対する技術者の責任は何か
- 各グループは、白熱した討論が繰り広げられた。



写真 4 : グループワークの状況

- ◆ 発表について
発表では多くのグループが課題を読み違えてしまい、講師が期待した結論とかけ離れた議論を行ってしまうというハプニングが起こってしまった。講師や他グループから鋭い質問が多くなされ、ここではじめて題意とずれていたことを認識することとなった。



写真 5 : 発表の状況-1



写真 6 : 発表の状況-2

- ◆ 全体討議について
各グループの発表内容に基づき、「なぜ間違えたのか」「どのような論旨で議論がすすめられたのか」について話し合い、反省を行った。今回の目的が「リスクマネジメント」であったこともあり、想定外のハプニングは参加者にとって勉強になり、得るものも大きかったと思われる。

5. 懇親会

研修会終了後に会議室で懇親会を行った。参加者は、講師の方に講演内容の質問をする、他の技術分野の方と交流を深めるなど、有意義な時間を過ごした。

以上